

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成19年度採択）

事後評価結果

番号	研究課題名	研究代表者	評価
19-2	津波による道路構造物の被害予測とその軽減策に関する研究	九州工業大学 教授 幸左 賢二	A

<研究の概要> ※成果報告レポートより引用

スマトラ沖地震調査による橋梁構造物の被害分析および損傷橋梁をモデルとした水理模型実験、遠心模型実験により、津波による橋梁への作用力および盛土高と越流水深の関係を提案した。ついで、提案した設計手法を和歌山県の道路構造物に適用することにより、実被害度を想定するとともに、対策工の検討を行った。

<事後評価結果>

膨大な実験の積み重ねによる貴重な知見に基づき、研究成果が定量的にまとめられており、実務への適用性が高く期待できることから、今後想定される巨大地震対策の検討に向けての研究目的は達成され、十分な研究成果があったと評価する。

<参考意見>

- ・ 橋梁に対する津波対策に有力な研究的貢献をしたと考えられる。
- ・ 当初の目的に適った成果が得られたものと評価する。今後も **Scale Effect** と安全率のとり方や流体力学の検討など、実用化のための研究を継続いただきたい。